

1. 経緯

1. 発生日時 令和2年 7月30日（木） 15時30分頃
2. 発生場所 東海北陸自動車道長良川SAゴミ仕分け室
3. 概要 休憩施設清掃のため、ゴミ仕分け室でゴミ仕分けを行っていたところ、床に足を滑らせ転倒し、骨折した事象。
4. 関係者 エリアキャスト [REDACTED]
([REDACTED] [REDACTED])
5. 負傷状況 右くるぶし骨折 全治1か月～2か月



1-2. 経緯

6. 時系列

- ・7/30（木）15：30 長良川SA ゴミ仕分け室でゴミ仕分けを行っていた、ゴミ仕分け室入り口のスロープに仮置きしていた園芸用プランター（女子トイレ内ゴミ箱に投棄されていた物）を不燃ごみとして回収しようとしたところ、床（タイル敷き）に足を滑らせ転倒、当日の勤務は16：00までだったので最後まで勤務し帰宅
- ・7/31（金）9：00 ■■■■担当職員へ入電があり、AM/PM勤務であったが少し痛みがあるので、AM勤務終了後、PM勤務を休ませてほしいと報告があった。
さらに8/1休暇願をされた。この入電にて転倒したことをロードは把握した本人からは打撲との報告）

17：45ロード担当へ再度入電があり、痛みがひどいので病院（■■■■）で診察すると骨折
全治1か月～1.5か月との診断
紹介状をもらい後日、■■■■の■■■■病院にて8/4（火）手術を行い、8/13退院しその後リハビリ療養の予定。

2. 状況



4. 今後の対策

7. 原因と今後の対策

- 原因
- ・ 作業床がぬれていた
(産廃業者によりゴミの回収直後であったため、床の洗浄を水道水で行った後であった)
 - ・ 回収した不燃物（プランター）を入り口スロープに仮置きしていた。
 - ・ 勤務終了間近であったため、焦りがあった。
 - ・ 持ち込みゴミに対してうんざりしていたためイライラしていた。
- 対策
- ・ 作業床がぬれている場合、モップ等で拭き上げてから作業を行う、また物理的に滑らないような対策を検討する（床の滑り止め加工等）
 - ・ 回収したごみは分別室の中へ仮置きせず、格納するよう徹底する。
 - ・ 勤務時間内に作業が残ってもかまわないと意識を持てるよう教育を行う。（安全第一につながる）
 - ・ 持ち込みゴミや、不法投棄を防ぐため、看板やポスティングを検討する（お客様の協力を得る）
 - ・ 安全会議を開き周知徹底を行い、再発防止に努める。（コロナ禍の為、各休憩施設別に行う）
 - ・ 担当職員はどんな事象であろうと、特に安全に関する報告については、必ず報告し、情報共有を行う。
 - ・ 現場エリアキャストは、安全にかかわる事象は自ら判断することなく、担当職員に必ず報告する。